

活動名	中野駅南口プロジェクト 「ナカノミナミ・ピクニックデイ～食べて・遊んで・アートに触れよう～」
-----	---

貢献・連携類型	1. 地域連携・協力
---------	------------

報告者	建築学科	学科	職位	准教授	氏名	泉山 壘威
-----	------	----	----	-----	----	-------

概要（実施したこと、進捗状況等）について記述してください。
<p>2025年度、中野駅南口プロジェクトでは、中野駅南口エリア全体の回遊性やにぎわいの構築、エリアとしての価値向上に向けた試みとして「ナカノミナミ・ピクニックデイ～食べて・遊んで・アートに触れよう～」を実施した。中野駅南口エリアは、再開発や駅前広場の整備により、まちが大きく変わろうとしている。また、子どもやファミリー層の増加が見込まれる一方、「くつろげる場所」「飲食スペース」が不足する現状にある。そこで、中野駅南口エリアにおいて、エリアの魅力向上および地域住民の「居心地の良い場所」を実現する社会実験を行った。</p> <p>具体的な実施内容として、①人工芝のピクニック広場やチョークアート体験による子どもやファミリーが楽しめる場の創出、②キッチンカーの誘致や滞留空間の設置による飲食・交流ができる場の整備、③銀行1階での都市模型の展示による空間活用の可能性の検討を実施した。これにより、多様な活動が見える空間を創出することで、中野駅南口エリアの将来や公共空間に対するニーズを検証した。</p>

今後の展望、本活動で得られた成果を記述してください。
<p>本社会実験を実施した結果、中野駅南口エリアで多くのファミリーが楽しめる空間を創出し、多世代が集う「まちの居場所」を実現できた。</p> <p>また、各種調査により中野駅南口エリアには「飲食」や「休憩・会話」が可能な滞留空間の需要が高いことや、子どもが楽しむことのできる「遊び」を誘発するコンテンツなどによる賑わいの創出が求められていることが明らかになった。</p> <p>今後も中野駅南口エリアにおいて、エリア全体の回遊性やにぎわいの構築、価値向上に向けて、中野南口のまちづくりを考える会と連携した取り組みを行う。</p>

対象・相手先	中野南口のまちづくりを考える会
--------	-----------------

協定書・依頼の有無（具体的に記入）	無し
-------------------	----

実施日時	2025年11月9日（日） 11時～16時
------	--------------------------

場所	東京都中野区 中野駅南口エリア
----	--------------------



本学からの参加者 建築学科： 泉山壘威准教授、都市計画研究室（泉山ゼミ）の学生・大学院生 約30名
--

